

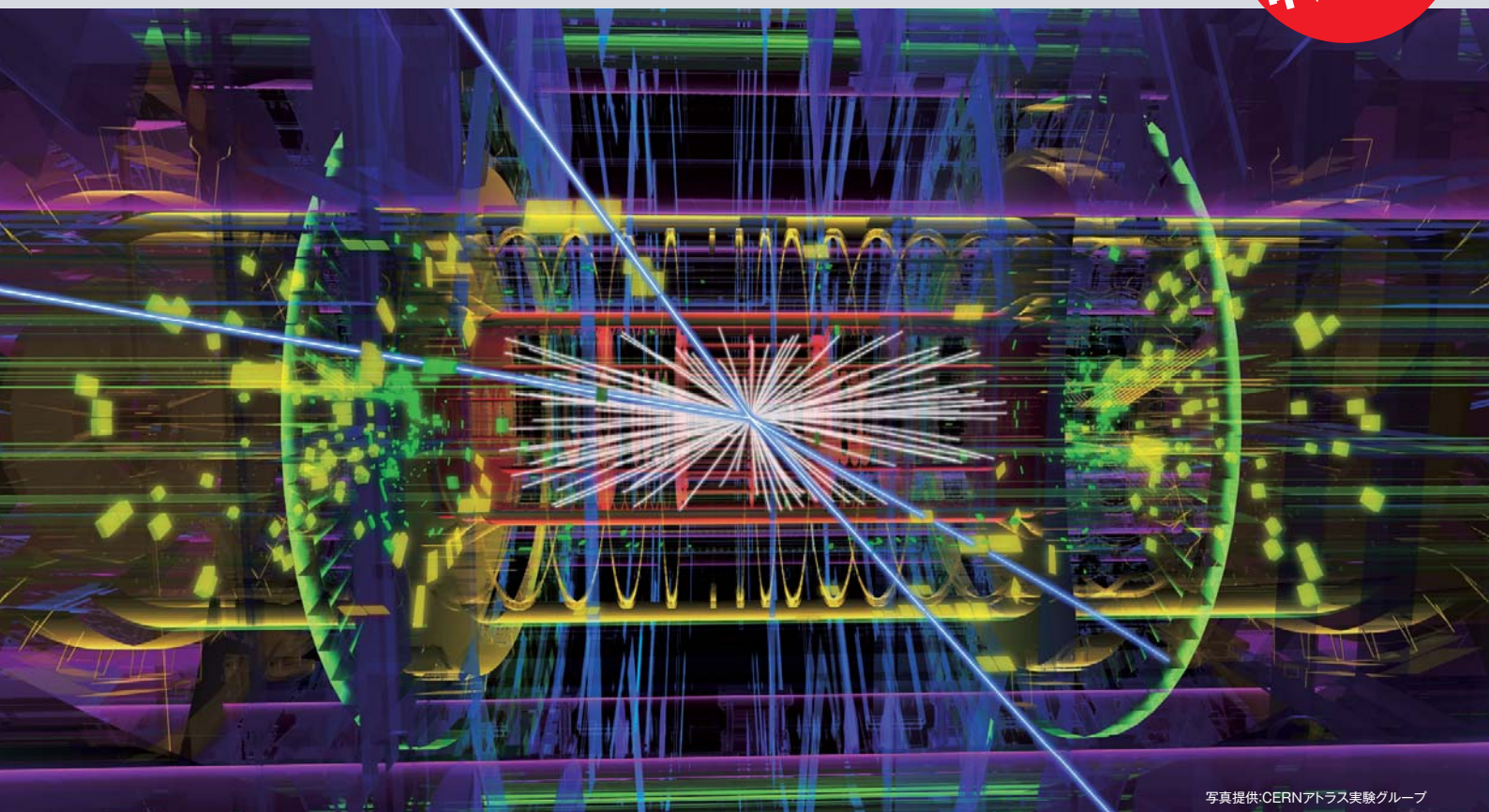
岡山大学特別講演会

# 「最後の素粒子 ヒッグス粒子」

……日時 8月1日[水] 14:00～16:00

……場所 岡山大学創立五十周年記念館 多目的ホール

参加無料  
申込不要



写真提供: CERNアトラス実験グループ

## 演題 宇宙から探る素粒子物理

講師 石野宏和 准教授  
(岡山大学大学院自然科学研究科・理学部物理学科)

## 演題 ヒッグス粒子(?)の発見

講師 中野逸夫 教授  
(岡山大学理学部附属量子宇宙研究センター長・大学院自然科学研究科・理学部物理学科)

宇宙にあふれる物質はどのように作られたのか。物理学は、物質を構成する最小単位・素粒子から、この謎に迫ります。

物理学の標準理論で17種類あるとされる素粒子の中で、唯一見つかっていなかったのが「ヒッグス粒子」。万物の質量の起源と考えられています。

そして2012年6月、スイスのCERNにある史上最大の加速器LHCで、2つの国際研究チームが「ヒッグス粒子(?)」と考えられる新粒子を発見したと発表しました。

この講演会では、そのLHCアトラス実験に加わった中野教授らが、宇宙、素粒子物理、質量の起源について解説します。

